



## 「水はどこから来る？ 使った水はどこへ行く？」

## (1) ねらい

普段使っている水がどのようにして出来て、使った水はどうなるのか、水の循環について考えてもらいます。水源かん養林(水源林)の役割や、浄水場で水道水ができる仕組み、使った水をきれいにする下水処理場の仕組みやその必要性・重要性などについて学ぶことで、水資源の循環について理解し、環境保全に主体的に取り組む意識と態度を育てます。



## (2) 対象 (○の下の数字は対象学年)

幼	小	中	高	般
	○4-6			

## (3) 支援メニュー提供者

メタウォーター株式会社

## (4) 形態

出前授業／オンライン授業

## (5) 関連教科等 \* ( ) 内は関連性の強い単元

社会科(小4:くらしと水)、総合的な学習

## (6) 土曜授業

応相談

## (7) 支援メニュー内容

「水はどこから来る？使った水はどこへ行く？」

普段使っている水がどのように出来て、使った水はどうなるのか、水の循環について座学と実験の双方を通じて分かりやすく学ぶことができる講座です。

## ①導入(座学)

・パワーポイントにより、飲み水ができるまでの仕組み(浄水場)や、使った水をきれいにする仕組み(下水処理場)など水循環の話聞く。あわせて、水と森林の関係性について話を聞く。

・学校の場所と、浄水場および下水処理場の位置関係(水道水はこの浄水場から来て、使ったらどの下水処理場に流れていくか)を確認する。

・下水に流してよい紙とそうでない紙について、簡単な実験を行う。

## ②発展(実験):座学で学んだ内容をふまえて2種類のろ過実験を行う。

・自作した砂ろ過器またはアクリルケース砂ろ過器によって実際に泥水を砂でろ過する様子を観察する。(自作かアクリルケースかは授業実施時期や参加人数等により決定します)

・また、セラミック膜を使用したろ過実験器でも、実際に泥水をセラミック膜でろ過する様子を観察する。

・2種類のろ過方法についてその違いを比較し、ろ過について理解を深める。

## ③まとめ:学習して気付いた事(感想)や印象に残った事についてグループごとに話し合いをする。

・出てきた意見をまとめてグループごとに発表する。

・質疑応答

※時間の都合等により、まとめはアンケートへの回答にすることがあります。

## (8) 支援メニュー関連ホームページ

<https://www.mwland.jp/experience/lesson/>

## (9) 費用

謝金	不要
旅費	不要

## (10) その他

詳細は、上記自社のHPをご覧ください。

※オンライン授業による対応も可能です。ご依頼の際にその旨をお伝えください。

## 申し込み

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX等により直接申し込むことができます。しが学校支援センターを通じて申し込むことも可能です。

相談はしが学校支援センターへ 電話：077-528-4654 e-mail：[ma0601@pref.shiga.lg.jp](mailto:ma0601@pref.shiga.lg.jp)